

モーリス・ロネ

Maurice Ronet

生年月日 1927/04/13

出身地 フランス／ニース

没年 1983/03/14

関連人物 ジョセフィン・チャップリン（元妻）
マリア・パコム（元妻）

【バイオグラフィ】

■本名はMaurice Robinet。両親共に俳優で、幼い頃から演技に興味を示し、ジャン＝ルイ・バローを師事した後にコンセルヴァトワールへ入学。多くの舞台を経験する。戦後サンジェルマンのカフェに入り浸る内にジャック・ベッケル監督と知り合い、49年に彼の作品で映画デビューする。やがて「死刑台のエレベーター」や「太陽がいっぱい」でその二枚目振りと確かな演技力を発揮してスターの一員として活躍した。マリア・パコムと離婚後ジョセフィン・チャップリンと再婚して一児もあったが83年、ガンによってこの世を去った。

【フィルモグラフィ】

さよなら夏のリセ (1983)	出演
愛しきは、女／ラ・バランス (1982)	出演
スフィンクス (1980)	出演 : イヴオン・マジョ
華麗なる相続人 (1979)	出演
チェイサー (1978)	出演
マダム クロード (1977)	出演
マルセイユ特急 (1974)	出演
暗黒街の仁義 (1973)	出演
ドンファン (1973)	出演
ヘリコプター脱獄 (1973)	出演
野獣の匂い 新スキャンダル・潜入秘密クラブ (1972)	出演
パリは霧にぬれて (1971)	出演
どしゃ降り (1970)	出演
太陽が知っている (1969)	出演 : ハリー
女性たち (1969)	出演
ペルーの鳥 (1968)	出演
水色のビキニのマドモアゼル (1968)	出演 : フィリップ
不貞の女 (1968)	出演
ザ・スカーレット・レディー (1967)	出演
殺意 (1966)	出演 : ポール
名誉と栄光のためでなく (1966)	出演 : ボアフーラ大尉
マンハッタンの哀愁 (1965)	出演 : フランソワ
リーザの恋人 (1964)	出演
輪舞 (1964)	出演 : アンリ
鬼火 (1963)	出演

自由街一番地 (1962)	出演
カサブランカの夜 (1961)	出演 : モーリス
さよならパリ (1960)	出演 : フィリップ
太陽がいっぱい (1960)	出演 : フィリップ・グリーンリーフ
スパイ戦線 (1958)	出演
死刑台のエレベーター (1957)	出演 : ジュリアン・タヴェルニエ
宿命 (1957)	出演
野性の誘惑 (1956)	出演
レミー・コーション／毒の影 (1953)	出演
ボルジア家の毒薬 (1952)	出演
七月のランデヴー (1949)	出演